

令和7年度 第1回地域家庭教育推進会津ブロック会議

1 開催日 令和7年6月24日(火)13:30~16:10

2 会 場 道の駅あいづ 湯川・会津坂下 会議室

3 開催趣旨

この会議は、会津地域の家庭教育の現状と課題を把握し、課題解決に向けた実践活動を推進するため、各郡市PTA連合会・学校代表・企業代表・地域代表による協議を行うものです。

昨年より、「親子のコミュニケーション」をテーマに広報物の作成に取り組んでいます。今年度は、委員の皆さんから多様なご意見をいただきながら、広報物を完成させるとともに、多くの家庭へ行き渡るようにするための方策について話し合いを進めました。

4 内 容

(1) 「広報物」の最終確認

- ・ まずは、見てもらうための仕掛け作りが重要。夏期休業や冬期休業等の課題として各家庭で考えてもらうことはできないか。コメント欄を付けることで、親にも関心をもってもらえるのではないかな。
- ・ 塗り絵にすると低学年にはより興味をもってもらうことができるのではないかな。
- ・ スンプラリーのようにして、目標をクリアしたら、応援企業からプレゼントをもらえるなど、ゲーム感覚にして活用を図ってはどうか。
- ・ 会津大との連携を図り、紙形式ではなくアプリにして配信することはできないか。
- ・ ルールを書く欄を作るなど親子で目標を記入して、目標を達成した時のごほうびを設定できるような仕掛けがあるとよい。
- ・ 貼ることを考えると、両面ではない方がよい。
- ・ 我が家のルールコンテストとして応募してもらい、おもしろいルールを表彰するなど、渡すだけで終わるのではなく、活用することを意識して配布することも考えた方がよい。



広報物（表面）



広報物（裏面）

(2) 広報物配布のための効果的な働き掛けについて

- ・ 学校の家庭教育講座で配布する。全校の保護者会で説明する。宿題にしてもらえると、保護者の意識もそちらに向くのではないか。
- ・ 応援企業や各団体の主催事業で取り扱ってもらう。また、データで各団体に送っても、カラーで印刷しなければ目にとまらないのではないか。
- ・ 就学時健診の時に配布する。学校の集まり等、全員が集まる場で説明する。
- ・ 学校運営協議会で話題にもらい、周知を図る。
- ・ 公民館便り・あいづっこ WEB・回覧板などでの周知も検討したい。その代わり、回覧板などでは、配ってもらう人の負担とならないようにしなければならない。
- ・ 作成した物を数多くの施設に置く。配布してくれる人を増やすために、子ども食堂や関係団体にも協力してもらう。未就学児から年齢が上の子までに届けられるようにしたい。
- ・ この会議についても発信し、熱意をもってこの配布物が作られていることを伝えたい。



【当日のグループ協議の様子から】

○ まとめ(鶴見常夫 委員長)

- ・ 広報誌、回覧などで周知するという意見が出た。保護者会、校長会などで実際に伝えながら配布することで、広く周知して活用してもらいたい。また、カラー印刷して配布してもらうために送付相手に声をかけてもらうことも重要だ。
- ・ 模造紙にまとめたものを事務局でまとめさせてもらい、完成形としたい。
- ・ 2回目のブロック会議では、具体的な周知の成果について報告をしていただくので、引き続きご協力を願いたい。

5 本会議の成果と課題について

〈成 果〉

- 今年度半数以上の委員が入れ替わったため、継続の委員が分散するようにグループを編成することで、会議をスムーズに進めることができた。
- 新規の委員の方々には、事前にリーフレットを配布し、あらかじめ目を通し協議に参加するようお願いしておいたため、初めての話し合いでも活発な意見が出され、今後の有効活用について確認することができた。
- 昨年度から作成をおこなっている「広報物」をよりよい物にするためにそれぞれの立場から多様な意見が出た。グループ協議の中で、アイデアが出され、それを全体で共有する中で、誰に伝えるか、どのように伝えるかが明確になった。

〈課 題〉

- 広報物の活用については、委員がそれぞれの立場から継続して活用を働きかけていく。今までやっていなかった周知方法も検討していく必要がある。
- よりよい広報物の作成と配布について、アプリ形式での作成、カラー印刷をしての配布等を行う意見が出されたが、予算的な制約があり困難な点もあった。